

と う い の 山 甲 か ら

たいぶさみさき

大房岬自然公園ニュースレター No.98

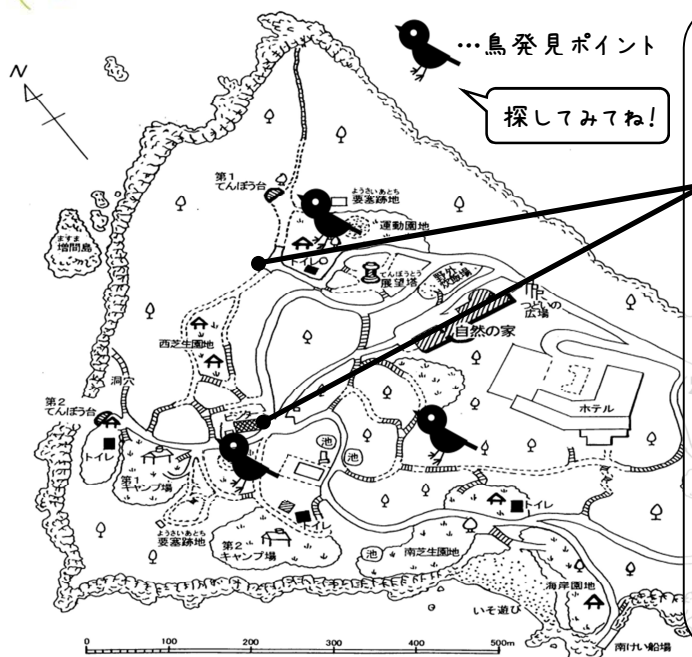
2015年
4月

大房岬にも暖かい春が到来しました。美しい桜の花と共に、他の植物や小鳥たちも活発に活動を始めています。のどかな日差しの中、お散歩に来てみてはいかがでしょうか。

たいぶささんぽ

桜以外にも見所が満載！

お散歩コースの中の小さな春を紹介します。



かんざしの下げ飾り

～ハチジョウキブシ～



小さい花が連なって咲き誇り、まるでかんざしの下げ飾りのように見えることから、昔の人に「山かんざし」と呼ばれているハチジョウキブシ。風にそよそよと揺られる姿は今の季節、ビジターセンターの横でも楽しむことができます。

開花期は3月から4月です。



ここが「下げ飾り」

旅立ちの季節、最後の一鳴き

～ジョウビタキ、ツグミ、シロハラ～

春は私たち人間にとって別れと出会いの季節です。大房岬に冬を越しにやってきた鳥たちにとっては旅立ちの季節…。多くの鳥たちが岬を離れます。オレンジ色の「ジョウビタキ」、芝生をひょこひょここと動き回る「ツグミ」、林床でキョキョキョと鳴く「シロハラ」。暖かい房総を旅立ち、繁殖のために北の国へ向かいます。

シロハラとツグミは出発の前、4月頃になるといつもと違う声色でさえずりはじめます。普段はもの静かなツグミも別れを惜しむかのようにきれいな声を聞かせてくれます。

花見と一緒にバードウォッチングもおススメ！
ビジターセンターで双眼鏡のレンタルあります。



↑ツグミ



↑シロハラ

ツグミは「ポピリオン、キョロキョロ」。シロハラはポピリオンという声でさえずります。



↑ジョウビタキ(♀)

頭がごま塩がオス。
頭が薄茶がメスです。
好奇心旺盛で、同じ枝に長くとまるので観察しやすいです。



裏面では「ゴールデンウィークナイトイベント」をご紹介します。

→→→→→